

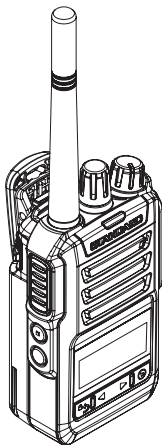
STANDARD

デジタル
82
チャンネル

Digital Convenience Radio

3R 3T 登録局

Digital
【資格不要】



携帯型デジタル簡易無線機

VXD40BT 簡易取扱説明書

- ◎ 送信出力5W
- ◎ 陸上波 82 チャンネル
- ◎ 上空波 15 チャンネル受信可能
- ◎ 安心の3年保証
- ◎ 防塵防水性 IP67/MIL-STD-810G
完全防水ではありませんので、水中での使用はできません

お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
この無線機は国内専用モデルです。海外では使用できません。

- ◎ デジタル簡易無線登録局は資格不要で、簡単な登録申請手続きをするだけで、誰でもご使用になれます。
登録申請方法は、当社の最新情報をインターネット上で閲覧できます。
https://www.kcsr.co.jp/csr_standard_business.html
または総務省の電波利用電子申請をご参照ください。
<https://www.denpa.soumu.go.jp/index.html>

はじめに

安全上の
「注意」

お使いに
なる前に

各部の
名称と機能

デジタル簡易
無線局について

操作の
しかた

付
録

目次

はじめに	3
無線局登録申請について	3
ご利用にあたって	3
アフターサービス	3
Bluetooth®について	4
電波干渉について	4
登録商標について	4
免責事項	4
構成品	5
オプション一覧表	5
防水性能について	6
安全上のご注意	7
お使いになる前に	13
アンテナの取り付け	13
外部マイクの取り付け	13
ベルトクリップの取り付け	14
ハンドストラップの取り付け	14
リチウムイオン電池パックについて	15
電池パックの取り付け／取り外し	16
電池パックの充電方法	17
各部の名称と機能	19
デジタル簡易無線局について	22
チャンネル構成とコールチャンネル (ARIB 種別コード：3R 3T)	22
通信時に動作する機能に関して	23
操作のしかた	24
通話のしかた (UC 通信機能)	24
各機能の設定	25
セッテイリスト	26
コールモード (拡張機能)	27
セットモード (拡張機能)	28
ユーザー同士で交信する (UC 通信機能)	30
個別に呼び出したい (個別通信機能)	32
付録	33
定格	33

無線局登録申請について

本製品（以下、無線機と記載）をご使用になるには、電波法で定められている「無線局登録申請」を行い、登録状の交付を受ける必要があります。無線機をご使用になる前に、必ず登録申請を行い、登録状の交付を受けてください。

注意

登録状の交付を受けずに無線機を運用し、電波を出した場合、電波法第9章110条に定められた罰則（一年以下の懲役又は百万円以下の罰金）が適用されますので、必ず無線局登録申請を行い、登録状の交付を受けた後に運用を行ってください。

ご利用にあたって

- ◎ 無線機は、技術基準適合証明を取得し、ARIB規格に準拠していますので、他社のデジタル簡易無線登録局（種別コード「3R及び3T」）との互換性を確保しています。ARIB規格以外の機能の互換性はありません。
- ◎ 本体背面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、“分解”や“改造”を行うことは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- ◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。

アフターサービス

- ◎ 正常なご使用状態で万一故障した場合は、お手数ですがお買い上げいただきました販売店までご相談ください。
- ◎ 取扱説明書の記載内容を予告無く変更する場合があります。

はじめに

Bluetooth® について

無線機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の認証を取得しています。

以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

◎無線機を分解したり改造すること。

◎モジュールに貼ってある認証ラベルをはがすこと。



注意

- ・無線機のBluetooth®モジュールの使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどや、医療用、産業用などや、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。そのため、本製品と他の無線局とで電波干渉が発生した場合には、速やかに無線機の使用を停止するか、使用場所を移動してください。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社CSRはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

電波干渉について

近距離で複数のグループの人が、複数のチャンネルを使用して通話するような場合に、隣り合うチャンネル同士の電波の干渉により、通話に支障が生じることがあります。このような時は、隣り合うチャンネル(例: “-CH01-” と “-CH02-”) でのご使用を避けていただき、離れたチャンネルを設定していただくことで、干渉を軽減することができます。

登録商標について

本製品は、公式ライセンスである 株式会社CSR により製造、配布または販売されています。Vertex Standard、Standard、およびデザイン化された VS ロゴと SR ロゴは、Vertex Standard Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

©2026 CSR, Inc. All rights reserved.

免責事項

- ◎ 取扱説明書に記載の使用法とは異なる使用法により発生した故障、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 無線機を使用して生じた障害や損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いません。

構成部品

本体 (VXD40BT) . . .	1	急速充電器セット	1
アンテナ (ATU-12J)	1	(急速充電器:CD-75A+	
ベルトクリップ (CLIP-20)	1	ACアダプタ:CAA1610F)	
リチウムイオン電池パック		MIC/SP端子カバー.	1
(FNB-V145LIA)	1	(本体に取り付け済み)	
		簡易取扱説明書	
		(保証書裏表紙内側).	1

- ・ 保証書に、お買い上げの販売店名とお買い上げ日が記入されていることをご確認ください。
- ・ 不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。

オプション一覧表

品 名	型 番
標準型リチウムイオン電池パック 2200 mAh (構成部品と同等)	FNB-V145LIA
急速充電器 (構成部品と同等)	CD-75A
ACアダプタ (構成部品と同等)	CAA1610F
連結型充電器用ACアダプタ	PS000369A01
ベルトクリップ (構成部品と同等)	CLIP-20
スタビーアンテナ (構成部品と同等)	ATU-12J
ウルトラスタビーアンテナ	ATU-17J
防水型スピーカーマイク	MH-66A7A
コンパクトスピーカーマイク	MH-82A7A
スピーカーマイク	MH-83A7A

詳細等は、サポートマニュアル、カタログを下記ホームページでご確認ください。

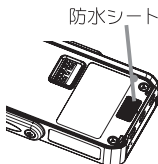
URL:https://kcsr.co.jp/detail_vxd40.html

はじめに

防水性能について

無線機は、IEC 国際規格 IP67(防塵等級 6^{※1}、防水等級7^{※2})の防塵、防水性能を有しています。この防水性を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。製品本体の防水性能を維持するためには、異常の有無に関わらず保証期間経過後、1年に一度のメンテナンスをお勧めします(有償にて承ります)。過失等、故障内容によっては、保証期間内においても有償修理の対象となる場合があります。

- ◎ キーのラバー、MIC/SP 端子カバー、防水シート、電池パック接合部分などに、キズ、劣化、汚れ、剥がれがないか確認してください。
- ◎ 海水砂泥などが付いたときは、ケースが損傷していないことを確認した上で、真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ 無線機の汚れを落とす際に、蛇口からの水を直接当てたり、高圧の洗浄機やエアダスターを使用したり、スチーム洗浄をおこなったりしないでください。
- ◎ 無線機は、水中での使用はできません。
 - ※1： 粉塵が内部に侵入しない。
 - ※2： 加圧を加えない真水・静水に水深1mの位置で 30 分間没しても有害な影響を生じないこと。



■ ご注意

- ・この無線機は、職業上管理された状況での使用を意図した製品です。使用者は、自身の曝露に関する十分な知識を持ち、国際標準規格の職業曝露限度を守るよう自身の曝露を管理できる者を想定しています。一般消費者による無線機の使用は認められていません。
- ・他人から頼まれて通信したり、他人の用件のために無線機を貸して使用することは電波法令で禁じられています。
- ・他人の通話を聞いて、これを漏らしたり悪用することは電波法令で禁じられています。
- ・無線機は電波法令で定められた技術基準に適合（合格）していますので、分解や改造は電波法令で禁じられています。
- ・このデジタル簡易無線登録局は国内専用モデルです。海外では使用できません。

■ 本文中のマークの意味は次のようになっています。

 警告	この表示は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が障害を負う可能性が想定される内容や物的損害の発生が想定される内容」を示しています。

■ 製品の安全性と電磁波による影響（携帯型無線機用）

無線機を他の使用者に譲渡する場合には、使用者は、必ず無線機の電磁波についての取り扱いが書かれた説明書（本書）を添えてください。

この無線機は、離れた2つの間の通信を提供するため、無線周波数帯の中の電磁エネルギー、すなわち電波を使用しています。無線通信用のエネルギーである高周波エネルギーは、電磁エネルギーの一形態であり、例えば日光やX線もその1つに含まれます。しかしながら、高周波エネルギーは、不適切に使用された場合に生物学的損傷を引き起こす可能性が高い電磁エネルギーと同じように考える必要はありません。（例えば、X線の非常に高いレベルは、組織および遺伝物質を損傷する可能性があります。）

安全上のご注意

無線通信のための高周波エネルギーを安全に使用するため、科学、工学、医学、健康、そして産業分野に詳しい専門家が協力し、国際的な基準を策定しています。この基準はビジネスや一般的に使用される無線設備から放射される電波の推奨される値を提示しています。この値については、保護のため通常かなり余裕をもった値になっています。

さらに無線機をご使用されるお客様に安全にお使いいただけるような操作手順をお勧めしています。これらは高周波エネルギーについての知識をお客様にご理解いただき、無線機を安全に使用する方法についての簡単な手順を提供するために非常に重要なことです。

電磁波エネルギー曝露限度（電波が人体に与える影響において、人体が受けても差し支えない限度）について国際基準に準拠するには、以下の手順に従ってください。

- ・電磁波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。
- ・送信している間、人体暴露を与えています。連続送信するなど、50% 送信比率を超えないようにしてください。
- ・無線機本体やアンテナから鼻や唇が 25cm 以上離れた状態で、無線機のマイクが顔の前に来るようにして持ちます。アンテナは目から離れた状態にしておく必要があります。
- ・当社純正のオプションをご使用ください。



高周波エネルギー曝露は、アンテナからの距離の増加と共に減少します。

- ・装着してのご使用について。人体に装着するときは、必ず、当社純正の本機専用のクリップ、ホルダー、ホルスター、またはケースに装着してお使いください。純正品以外のオプションをご使用になると、職業上管理された環境における高周波曝露の限界値を超える曝露レベルになる場合がありますので、純正の装着用オプションをお使いください。
- ・アンテナ、バッテリー、オーディオオプションについては、必ず当社純正の付属品または交換用品をお使いください。純正品以外のアンテナ、バッテリー、オプション（有線または無線）をご使用になると、適用される高周波曝露に関するガイドライン（IEEE、ICNIRP）を超える場合があります。

■ 航空機 / 医療機関について

機内、病院、および医療機関では外部電磁波エネルギーの影響を受けやすい機器を使用していることがあります。電源を切るよう指示されている場所では無線機の電源を切ってください。

■ ペースメーカー

米国先進医療技術工業会（Advanced Medical Technology Association）（AdvaMed）は、無線機とペースメーカーの間の距離を少なくとも 15cm は維持することを推奨しています。ペースメーカーを着用されている方は無線機のご使用を控えてください。やむを得ず無線機を利用する場合は必ず、無線機を着用のペースメーカーから少なくとも 15cm 離しておいてください。

何らかの理由により、妨害が生じていることが疑われる場合には、すぐに無線機のスイッチをオフにしてください。

無線機からの干渉の潜在的なリスクについて、医師に相談してください（不十分シールド医療機器が干渉を受けやすくなる場合があります）。

■ 補聴器

無線機は、一部の補聴器に干渉することがあります。干渉する場合は、使用している補聴器メーカーに相談してください。

■ その他の医療機器

その他の個人用医療機器を使用する場合は、メーカーに相談してください。

■ 安全運転について

運転中に無線機を使用しないでください。

道路交通法、第 71 条第 5 号の 5 の規定により運転中に無線機を手にとって使用することは禁止されています。

事故の原因になりますので、まず安全な路肩に寄せ、停車してから、通信をおこなってください。または、ハンズフリー用純正オプションのご使用を推奨しています。

■ 音量について

大きな音が原因による聴覚の障害については、最初は自覚することなく、後になって感じられることがあります。長時間大音量で受信すると聴覚に影響を与えますので、最小限音量で、また短時間で使用してください。

聴覚を保護するには、次の事をお守りください。

- ・ 最低限必要な音量で使用してください。
- ・ 周囲の騒音で聞こえない時のみ、音量を大きくしてください。
- ・ ヘッドセットまたはイヤホンを接続する時は、音量を下げてください。
- ・ 長時間、大音量でヘッドセットやイヤホンを使用しないでください。
- ・ ヘッドセットまたはイヤホンなしで無線機を使用する場合は、直接耳にスピーカーをあてないでください。

安全上のご注意



警告

エアバッグ

- ・エアバッグの配線との干渉を避けるために、無線機の設置場所を、車両の製造元マニュアルを参照してください。
- ・エアバッグの部分、またはエアバッグが膨らむ場所に無線機を置かないでください。エアバッグは強い力で膨らみます。無線機がエアバッグの膨らむ場所に置かれている場合、エアバッグが膨らみますと無線機が強い力で押され、車の搭乗者がけがをする原因となります。



警告

発破区域での使用

- ・発破区域および雷管の近くでは無線機の電源を切ってください。
- ・爆発に影響を与えないよう、「発破危険」のように表示されている場所では、無線機の電源を切ってください。
- ・爆発の恐れのある場所に立ち入る場合、立ち入る前に無線機の電源を切ってください。
- ・爆発のおそれのある場所とは、ボートのデッキの下などの燃料補給・貯蔵場所、燃料や化学薬品の運送または貯蔵施設、および、空气中に穀物、ほこりや金属粉末などの化学物質や粒子が含まれている領域など、危険なガス、蒸気、または埃がある可能性があり、危険であると分類され、とりわけ爆発のおそれのある場所のことを言います。
- ・爆発の可能性のある場所での、取り付け、取り外し、および充電をしないでください。火花が散ることによってそれが爆発や火災の原因となり、身体的な損傷や死亡につながる恐れがあります。



注意

アンテナ

アンテナが壊れている無線機は使用しないでください。

壊れているアンテナの導体が皮膚に触れ、送信した場合、軽いやけどをすることがあります。



注意

電池パック

すべての電池は、物的損害または傷害を引き起こす可能性があります。

電池パックは、金属製のものと共にポケットなどに入れたり金属ケースに入れないでください。端子が他の金属製のものによりショートし、火傷、発火の危険があります。危険環境下で電池パックを交換したり、充電しないでください。電池パックの脱着時に端子から火花が飛び、爆発や火災の原因になることがあります。不正な修理をおこなったり、ラベルの貼り替えを行いますと、その機器の認定が無効となる場合があります。



静電気について

静電気が発生しやすい場所・条件でイヤホンをご使用される場合、静電気によって耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。そのような場合はイヤホンを使用しないようにしてください。



オプションについて

- ・本製品は、ホームページのリストに掲載されるオプションが認定機関によって認定されています。オプションとの組み合わせは、厳密に遵守する必要があります。
- ・接触不良の原因となりますので、オプションを使用しないときには、MIC/SP 端子カバーを付けてご使用ください。

■ その他の安全上の注意



運用場所について

ゴルフ場などの野外で無線機を使用中に雷鳴が聞こえた時は、落雷のおそれがありますので無線機を使用しないでください。



その他電子機器との混信

正しく設置されていない、また、十分にシールドされていない自動車の電子操作系統や娯楽用機器など、電磁波によって影響を受ける場合があります。その場合、それぞれの販売メーカーまたは販売店に、それらの設備が外部からの電磁波から適切にシールドされているかどうかご確認ください。また、自動車などに別途追加した設備についてもご確認ください。



衝撃

強い衝撃をあたえたり、投げつけたりしないでください。アンテナが破損することがありますので、無線機を持つときは、アンテナをつかまないでください。



使用環境

- ・異常に温度が高くなるところや、直接雨や水のかかる場所に放置しないでください。変形や故障の原因になる場合があります。
- ・直射日光のあたる場所（自動車内）や高温になる所、極端な低温環境に無線機本体を置かないでください。変形や故障の原因になる場合があります。

安全上のご注意

■ 電池パックの取扱いについて

重要：思わぬ怪我や損害を避けるために、電池パックの保管と取扱は適切に行ってください。

安全上の
ご注意

ほとんどの電池パックの問題は、不適切に取り扱ったか、もしくはダメージのある電池パックを使用し続けたことに原因があります。

下記のガイドラインに従ってご利用ください。



注意

- ・ 高温になる車の中などに充電電池を放置しないでください。
- ・ 電池パックを落とさないでください。電池パックを落とすことにより、特に固い床などでは、ダメージの潜在的な原因となります。
- ・ 分解、押しつぶす、穴をあける、裁断する、もしくは電池パックの形状を変更するような試みはお止めください。
- ・ 電池パックを水につからないようにしてください。水は電池パック内部の回路に侵入する場合があります、腐食などを引き起こします。
- ・ 金属類を電池パックに触れないようにしてください。もし金属類、たとえば貴金属装飾品などが端子に長期間触れたままの場合、電池パックが高温になる場合があります。
- ・ 高温になる熱源には近づけないでください。過度の熱は無線機や電池パックにダメージを与えます。高温はまた、電池パックが故障したり、液漏れ、膨張の原因になる場合があります。
- ・ 濡れたり湿った電池パックをドライヤーや電子レンジのような家電製品、もしくは熱源などで乾かすのは決してしないでください。

■ 取扱い上のお願ひ



注意

- ・ 充電の際には専用の充電器を使用してください。
- ・ 電池パックを使用しない場合には、無線機本体から外して湿気の少ない場所で保管してください。
- ・ 電源端子・充電端子をときどき乾いた綿棒などで、清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- ・ 無線機本体の清掃の際は、糸くずのつかない乾いた柔らかい布で汚れを落としてください。
- ・ 無線機を直接、洗剤の溶液の中に入れるようなことは絶対にしないでください。
- ・ 洗剤、溶剤、アルコールなどで無線機を清掃すると、無線機を傷つけたり破損したりすることがあります。

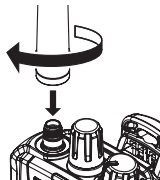
お使いになる前に

アンテナの取り付け

アンテナコネクタに近い太い部分を持ち、時計まわりにしっかりと止まるまでまわします。

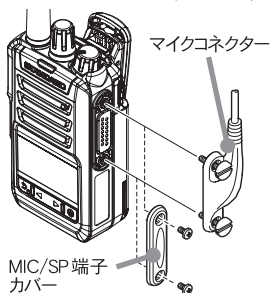


- アンテナの取り付け / 取り外し時には、アンテナの上部を持ってまわさないでください。アンテナ内部で断線することがあります。
- アンテナを外した状態で送信しないでください。送信回路が破損することがあります。



外部マイクの取り付け

MIC/SP端子カバーのネジを外し、オプションに付属のネジを取り付けます。



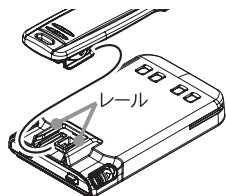
- MIC/SP端子を時々乾いた布や綿棒で拭いてください。端子が汚れていると、接触不良になって、正しく使用できなくなります。
- オプションを接続しないときは、MIC/SP端子カバーを取り付けてください。

お
使
い
に
な
る
前
に

お使いになる前に

ベルトクリップの取り付け

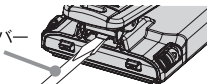
ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライドします。



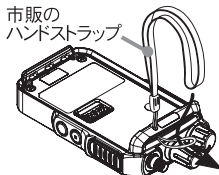
注意

ベルトクリップを外すときは、マイナスドライバー等でロックレバーを押し上げながらスライドして外します。指を使うと爪をはがしてケガの原因になることがあります。

マイナスドライバー

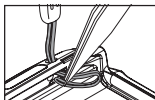


ハンドストラップの取り付け



注意

- ハンドストラップの取り付けひもを取り付け穴に通しにくい場合は、ピンセット等で取り付けてください。その際に、ピンセットの先端で指を刺したり、トランシーバーのケースにキズを付けたりしないよう、十分注意して取り付けてください。
- 先端の取り付けひもは約 0.8mm タイプの丈夫なストラップを取り付けてください。また、粗悪なハンドストラップを取り付けると、ひもが切れて落下し故障やケガの原因になります。



リチウムイオン電池パックについて

リチウムイオン電池パック（以下「電池パック」と表します）は、使い切らずに継ぎ足し充電が可能な電池パックです。運用する時は満充電にしてからご使用ください。なお、満充電の状態で再度充電をすると過充電となり電池の寿命を短くする原因になりますのでご注意ください。

電池パックの使用条件

◎ 周囲温度が -20°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ の範囲内で使用してください。

電池パックの保存方法

- ◎ 周囲温度が -20°C ～ $+35^{\circ}\text{C}$ の、腐食ガスのない湿度の低い乾燥した場所で保存してください。
- ◎ 高温の場所で保存すると、劣化の進行を早めることがあります。なるべく低温状態で保管してください。
- ◎ 長期間放置 / 保管するときは、次のことを守ってください。
 - ・ 無線機から電池パックを外す。
 - ・ 満充電または完全に使い切った状態にしない。
 - ・ 満充電にした状態からディスプレイに （電池残量が約 50%）が表示されるまで使用してから保管する。
 - ・ 長期間放置 / 保管後は電池容量が低下していることがあるので、必ず充電してから使用する。
 - ・ 過放電を防止するために、半年に一回、補充電（50%程度）をする。

電池パックの特性について

- ◎ 過充電 / 過放電などの無理な条件が重なると寿命が短くなります。
- ◎ 電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
- ◎ 満充電にしても持続時間が短くなってきたときは電池パックの寿命ですので、早めに新しい電池パックをお買い求めください。

電池パックのお手入れ

- ◎ 前面のプラス端子とマイナス端子及び背面の充電端子を定期的に綿棒等で拭いてください。
- ◎ ケースが汚れた場合には、シンナーやベンジンなどを使わず、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お使いになる前に

使用済みの取り扱い

- ◎ 前面のプラス端子とマイナス端子及び背面の充電端子をテープ等で絶縁してください。
- ◎ 電池パックを分解しないでください。
- ◎ 電池パックはリサイクルできます。
電池パックが不要になった場合は廃棄せずに、全国のリサイクル協力店、協力自治体、リサイクル協力事業者にご相談ください。



電池パックの持続時間

電池持続時間は常温 / 常湿において「送信出力 5W 時、送信 5:受信 5:待ち受け 90」の測定条件になります。周囲の温度により使用できる時間は異なります（極端な高温または低温の場所は使用時間が短くなります）。

電池パック	スーパーセーブ機能 OFF 時	スーパーセーブ機能 ON 時
FNB-V145LIA (構成品)	約 13 時間	約 16 時間

※初期設定状態での電池持続時間です。VOX、Scanなどの機能使用時は、持続時間が短くなります。

電池パックの取り付け／取り外し

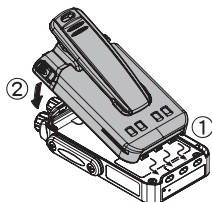
電池パックを取り付ける

- ① 無線機の背面下部にある凹み部分に、電池パックの突起部分を差し込みます。
- ② 電池パックの上面にある左右のロックを「カチッ」と音がするまで押しこみます。



注意

電池パックが確実に取り付けられていないと、落下事故や故障の原因になります。



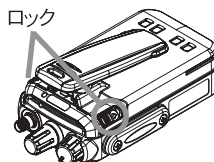
電池パックを取り外す

電池パックの上部左右にあるロックを刻印の矢印方向▼に下げながら、電池パックを外します。



注意

ロックを外す時は、指や爪などを傷めないよう、十分に注意してください。



電池パックの充電方法

付属の急速充電器セットで電池パックを充電します（充電時間下表参照）。

電池パックの充電時間	
LED インジケーター	FNB-V145LIA（構成品）
90% 充電（緑色点滅）	約 150 分
充電完了（緑点灯）	約 180 分

補足

電池パックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、充電してからお使いください。

お使いになる時のご注意

- ◎ 専用のACアダプタ以外の電源は絶対に使用しないでください。
- ◎ 急速充電器セットは充電機能のみで、外部電源としての機能はありません。
- ◎ 充電は、周囲の温度が“+5℃～+35℃”の場所で行ってください。
- ◎ 規定の充電時間以上経っても充電が完了しない場合は、すぐに充電を終了してください。電池パックの寿命です。新しい電池パックに交換してください。
- ◎ 充電中に急速充電器やACアダプタが発熱する場合がありますが故障ではありません。
- ◎ 充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがあります。できるだけ離してください。

お
使
い
に
な
る
前
に

充電器のLEDインジケーター

赤色点灯	急速充電中
赤色点滅	充電エラー（電池パックの誤挿入、不良電池パック、過充電など）
緑色点灯	充電完了
緑色点滅	90%充電（もう少しで充電が完了します）
緑色点滅 （1回）	急速充電器(CD-75A)にACアダプタ(CAA1610F)から電源が供給されたとき。
橙色点滅	予備充電（以下の原因が考えられます） 1. 電池パックの電圧が低下している場合（新品または空の電池パックの使用時など） 予備充電が終わると急速充電モードに移行します。 数分後に赤色点滅に切り替わる場合には、電池パックの抜き差しを行って充電動作のリセットを行ってください。 （数回のリセット操作を行っても改善しない場合には、電池パックの交換を行ってください。） 2. 電池パックが充電温度範囲外である場合（低温、発熱、など） 上記の問題が解決されると、急速充電モードに移行します。

お使いになる前に

使用方法

1. CD-75Aの左側面のダストカバーを外し、ジャックに“CAA1610F”のコネクタを差し込み、電源プラグを“AC 100V”のコンセントに差し込みます。

補足

電源プラグをコンセントに差し込むと、LEDインジケーターが緑色に1回点滅します。

2. 電池パックを装着した無線機をそのまま充電する際は、無線機の電源を必ず切って、無線機(または電池パック)をCD-75Aの充電口に差し込みます。

補足

無線機の電源を入れたまま充電を行うと、誤動作の原因となります。無線機の電源は必ず切ってください。

電池パックの溝を充電口のガイドレールに合わせて差し込みます。



注意

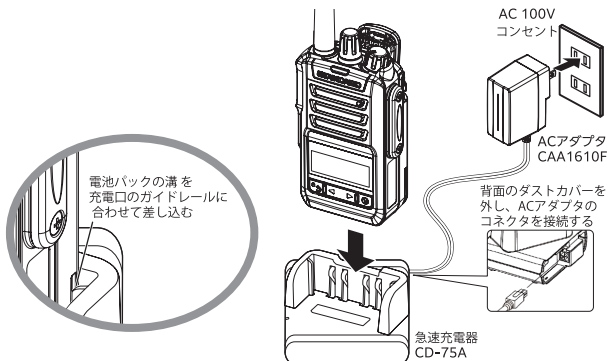
電池パックを単体で充電するときは、電池パックの電極が側面に露出しますので、金属片などが触れてショートすることが無いよう十分にご注意ください。

3. 無線機(または電池パック単体)が正しく差し込まれるとLEDインジケーターが赤色に点灯し充電を開始します。
4. 90%充電になるとLEDインジケーターが緑色に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。

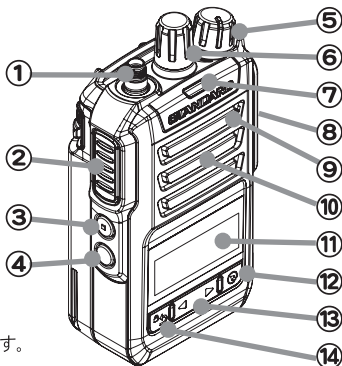


注意

充電完了後は速やかに電池パックをCD-75Aから取り外してください。そのまま長時間充電を続けると、電池パックを劣化させる可能性があります。



各部の名称と機能



各部の
名称と
機能

① アンテナ端子

付属のアンテナを接続します。

② PTT スイッチ (PTT)

押している間は通話、放すと待ち受けの状態になります。

③ プログラム 1 キー (□)

希望の機能を割り付けることができます。

補足

初期値は、短押しで受信音声の録音機能の開始 / 停止、長押しの割り付けはありません。

④ プログラム 2 キー (○)

希望の機能を割り付けることができます。

補足

初期値は、短押しでスキャン機能の開始 / 停止、長押しでバックライト機能が動作します。

⑤ 電源スイッチ / 音量調節ツマミ (㊦)

右へまわすと電源が入り、更にまわすと音量の調節になります。
カチッと音がするまで左へまわし切ると電源が切れます。

⑥ ロータリースイッチ (㊦)

チャンネルを選択するときにまわします。

⑦ LED インジケータ

受信中は通信方式により“緑色”“水色”“青色”または“白色”に点滅します。
送信中は“赤色”または“青色”に点灯します。
バッテリー消耗時は、“赤色”で点滅します。

⑧ MIC/SP 端子

MIC/SP 端子カバーを外して、スピーカーマイク等のオプションを接続します。

各部の名称と機能

⑨ マイク

⑩ スピーカー

⑪ ディスプレイ



◀◀◀ アイコン表示部

◀◀◀ チャンネル / 呼び先等表示

各部の
名称と機能

アイコン	アイコン説明
	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時：送信出力別に 5W 、2.5W 、1W が点灯します。
	Bluetooth機能に対応したヘッドセットやイヤホンマイクとワイヤレスで接続中
	秘話：秘話機能が動作中に点灯します。
	メッセージ：メッセージ送信中 / 受信中に点滅します。
	(VOXボックス): VOX 機能が動作中に点灯します。 : セミ VOX オペレーション機能待機状態時に点灯します。
	マンダウン：傾くとアラームでお知らせし、個別通信では緊急信号の自動発報を行います。
	キーロック：キーロック機能が動作中に点灯します。
	スキャン：スキャンチャンネルが登録 / 動作中に点灯します。 スキャン動作中に受信したチャンネルで点滅します。
	電池バック残量：電池バックの残量を 5 段階で表示します。 → → → → (点滅) と LED インジケータ（赤色）が点滅し警告音が「ピピッ」と鳴った時は、直ちに充電を行ってください。
	録音メモ：音声メモ機能が録音待機中、及び録音中に点灯します。

⑫ 選択 / 機能キー ()

短く押すとセッテイリストを表示します。

押しながら電源を入れると拡張機能に移行します。

⑬ 左右選択キー (◀ ▶)

セッテイリストや拡張機能等で、左右選択キーとして動作します。
設定項目で数字が3桁以上の場合、“桁”選択キーとして動作します。

⑭ 戻るキー (↶)

セッテイリストや拡張機能等で、一つ上の階層に戻します。設定変更中に押すと、変更を確定しないで変更前の表示に戻ります。
チャンネル表示画面で1秒以上押すとキーロックになり、再度約1秒以上押すと解除されます。

LED インジケーターによる通話状態の表示

無線機は、動作状態を視覚的にわかりやすくお使いいただくために、三原色のLEDを使用し、動作状態を以下のように示します。

LEDの色・状態	通信（動作）状況
緑色・点滅	UC 通信受信時、他局通信時
赤色・点滅	電池バック消耗時
赤色・点灯	UC 通信送信時、個別通信送信時
青色・点滅	秘話 UC 通信受信時、秘話個別通信受信時
青色・点灯	秘話 UC 通信送信時、秘話個別通信送信時
水色・点滅	個別通信受信時
水色・点灯	通話応答待ちの時（および不在着信時）
白色・点滅	緊急アラーム動作時及び緊急信号着信時

デジタル簡易無線局について

デジタル簡易無線登録局は、下表のように分類されています。

種別	ARIB 種別コード	周波数	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R 3T	351MHz	82	陸上及び日本周辺海域
登録局 (上空利用)	3S 3U		15	陸上及び日本周辺海域 並びにそれらの上空

補足

無線機は種別コード「3R 3T」の“登録局”として開発されたもので、スカイスポーツ等、上空でのご利用はできません。

チャンネル構成とコールチャンネル (ARIB 種別コード：3R 3T)

チャンネル構成

“- CH01 -” ~ “- CH82 -” の 82 チャンネルが利用可能です。

コールチャンネル

“- CALL -” は「コールチャンネル」に設定されています。

補足

- コールチャンネルでは、ユーザーコードは自動的に“000”に設定され、秘話は自動的に解除されますので、ARIB 規格で定めている「呼出用チャンネル」として、ご利用いただけます。
- コールチャンネルは一時的な呼び出しのみに使用し、継続的な通話は他のチャンネルで行うようにしてください。
- コールチャンネルでは、ユーザーコードおよび、秘話の設定はできません。

受信専用上空用チャンネルモニター

上空用チャンネル (1~15チャンネル) をモニターすることができます。

通信時に動作する機能に関して

キャリアセンス機能

基準値以上の強さの電波を受信している場合は、混信を防止するために、送信を禁止する機能です。

送信禁止時はディスプレイに“Wait”が表示され、「ピピッ...」と警告音を発し送信することができなくなります。受信を示すLEDインジケーターが消えてから再度送信を開始してください。

無線機は、デジタル簡易無線登録局としてキャリアセンス機能を搭載しており、電波法および ARIB 規格により、送信ごとにキャリアセンス機能が動作します。

補足

- “Wait”表示が出た後に受信電波がなくなり次第、ピープ音でお知らせする CH 空き通知機能が搭載されています。
- 大規模なイベントではデジタル簡易無線登録局の使用頻度が高く、チャンネルが大変混み合っている場合があります。無線機には、こうした状況をできるかぎり緩和して、速やかに通信を行うことができる便利な機能が搭載されています。
 - スキャン PTT による自動チャンネル選択機能

通話中の連続送信停止予告音（「ピピピ」音）

無線機の連続送信時間は“5分”で、約4分 50 秒で「ピピピ」と予告音が鳴ります。送信中に「ピピピ」というピープ音が鳴った場合、速やかに通話を終了してください。送信を継続すると約 10 秒後に自動的に送信が止まり、通話が中断されます。なお、自動的に送信が中断された場合、その後1分間は送信することができません。

操作のしかた

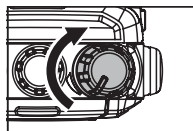
通話のしかた (UC通信機能)

1. 電源を入れます。

電源スイッチを右にまわすと、電源が入ります。

補足

ディスプレイに起動画面が約2秒間表示され「ピポッ」とピープ音が鳴り、ディスプレイに現在のチャンネルが表示されます。



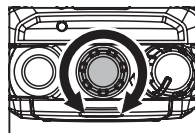
2. 音量を調節します。

音量調節ツマミを 10 ～ 11 時の位置にあわせておき、その後は相手の音声が最適な音量になるよう、音量調節ツマミで調節します。

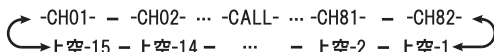
3. ロータリースイッチをまわして、チャンネルをあわせます。

右へまわすとアップ方向に切り替わります。

左へまわすとダウン方向に切り替わります。



陸上用チャンネル



上空用チャンネル (モニターのみ：F24 上空CH (P.29 参照))

補足

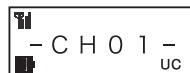
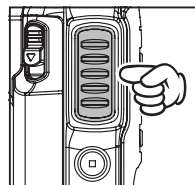
- CH01 - にあわせた時、「ピロ」というピープ音が鳴りますので、無線機を腰につけていた状態でも - CH01 - を確認することができます。

4. 送信 (通話) します。

PTT スイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

送信中、LED インジケーターが赤色または青色に点灯し、ディスプレイに送信出力のアイコンメーター “” が表示します。

近距離で交信する場合は、セットモード “F10 送信出力の設定” を参照し、送信出力を “MID” または “LOW” に切り替えることもできます。



補足

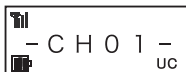
- 送信開始直前には、混信を防ぐためキャリアセンス機能が自動的に動作します。
- マイクと口元の間隔は、5cm 位が適当で、普通の声で話します。
マイクと口元の距離が近かったり、声が大きかったりすると、音声割れたり、歪むことがあります。

5. 相手の音声を受信します。

PTT(通話) スイッチを放すと、相手の話を聞くことができます。

補足

信号を受信すると、LED インジケーターが点滅し、電波の強さに応じて、ディスプレイに電界強度のアイコンメーター “” が表示します(最大 4 本)。

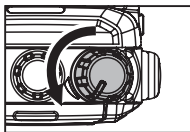


6. 電源を切ります。

電源スイッチを「カチッ」と音がするまで左にまわし切ると、電源が切れます。

補足

一週間以上使用しない場合は、電池パックが消耗しないように、無線機の電源を切り、無線機から電池パックを外してください。



各機能の設定

各機能を使用する場合は、セッテイリストや拡張機能(コールモード、セットモード) から機能を選択します。

◎セッテイリスト (P.26 参照)

比較的使用頻度が高い機能をリストから選択し、簡単に設定することができます。

◎コールモード (拡張機能) (P.27 参照)

UC 通信、個別通信や秘話等の詳細設定を行うことができる拡張機能です。

◎セットモード (拡張機能) (P.28 参照)

一度設定すると変更する機会や使用頻度が少ない拡張機能です。

操作のしかた (セッテイリスト)

セッテイリスト

セッテイリスト一覧

項目		設定値 (初期値太字)	機能
UC		000 ~ 511	ユーザーコードの設定
秘話		OFF /ON	秘話機能の設定
秘話コード		00001 ~ 32767	秘話コードの設定
リピート再生		—	自動で録音されている相手局の音声を再生
録音メモ		—	録音された音声を再生/消去
スキャンCH		CH01 ~ CH82/ALL CH	スキャンチャンネルの設定
RX イコライザー		OFF /LOW/HIGH	受信音の音質の設定
TX イコライザー		OFF /LOW/HIGH	送信音の音質の設定
ノイズキャンセル		OFF/ ON	ノイズキャンセル機能の設定
VOX		OFF /ON	VOX 機能の設定 * Bluetooth 接続時、VOX は解除されます。
VOX 感度		レベル 00 ~ 08 ~ 15	VOX 感度の設定
個別通信時の追加機能	アンサーバック	—	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認する機能
	着信履歴	—	着信した信号の発信元を、新しい順に表示 (最大 10 件)
	発信履歴	—	発信した信号の発信元を、新しい順に表示 (最大 10 件)
	メッセージ送信	—	あらかじめ登録されたメッセージ (最大 10 件) の送信機能
	メッセージ確認	—	受信したメッセージの表示 (最大 10 件)
Bluetooth (BT)		OFF /ON	BT Off/On
BT 使用 (ON) 時	BT 機器検索	OFF /ON	BT 機器検索を開始
	BT 登録一覧	—	BT 登録機器
	BT 登録削除	—	BT 登録機器削除
	BT PTT 切替	HS , HS+OP, HSMIC	BT 機器使用時の本体 PTT の動作設定
	BT 固定 VOL	OFF , 20%, ::, 100%	
BT 初期化		リセット / キャンセル	BT 設定初期化
自局情報		自局 ID/グループ ID	自局 ID、グループ ID の表示

※機能の詳細については、サポートマニュアルをご参照ください。

操作のしかた (拡張機能)

コールモード (拡張機能)

コールモード一覧

項目	設定値 (初期値太字)	機能
C01 通信方式	UC /個別	通信方式の選択
C02 UC モード	CH キョウツウ/CH ゴト	UCを全てのチャンネルの適用チャンネル設定
C03 UC ベル	0 /1/2/3 回	同一UC呼び出しビープ音の回数設定
C04 自局ID	001 ~ 200	自局IDの設定
C05 グループID	01 ~ 30	グループIDの設定
C06 個別ベル	0/ 1 /2/3/4/5 回	個別呼び出し時のビープ音の回数設定
C07 グループベル	0 /1/2/3 回	グループ/一斉呼び出し時のビープ音の回数設定
C08 緊急宛先	一斉 /個別	緊急信号を送信する際の宛先設定
C09 緊急個別ID	001 ~ 002 ~ 200	緊急を知らせたい相手局のID設定
C10 緊急応答先	一斉 /キンキュウ/ 個別	個別通信時の緊急着信時 応答宛先IDの選択
C11 秘話モード	CH キョウツウ/CH ゴト	秘話コードの適用チャンネル設定

※機能の詳細については、サポートマニュアルをご参照ください。

操作のしかた (拡張機能)

セットモード (拡張機能)

セットモード一覧

項目	設定値 (初期値太字)	機能
F01 ビープレベル	レベル00~ 08 ~15	操作 (ビープ音) の音量設定
F02 外部マイク	-18/-12/-6/-3/ 0 / +3/+6/+10	外部マイクの感度設定
F03 内部マイク	-18/-12/-6/-3/ 0 / +3/+6/+10	内部マイクの感度設定
F04 BTマイク	-18/-12/-6/-3/ 0 / +3/+6/+10	Bluetooth マイクの感度設定
F05 キーロック	KEY + ローターリー /PTT /KEY/ロータリー /ALL	ロックの範囲設定
F06 緊急モード	サイレント +ID /ID/ハッシン/アラーム /OFF/アラーム+ID	緊急モードの動作設定
F07 マンダウン	OFF /0sec/60sec	無線機本体が、60度以上、一定時間 (0秒/60秒) 続いて傾くと、「ピーツ、ピーツ、ピーツ」と60秒間緊急アラームが鳴ります。その後、あらかじめ設定されたエマージェンシー機能が動作します。
F08 TXビープ	OFF /ON	送信開始時のビープ音設定
F09 RXビープ	OFF /ON	相手局の送信終了音の設定
F10 送信出力	HIGH /MID/LOW/ RX センヨウ	送信出力の設定
F11 弱電界アラーム	OFF /ON	受信信号が極端に弱い場合に鳴るアラームの設定
F12 不在着信ベル	OFF /5sec ゴト×2/ 2sec ゴト/60sec ゴト/ レンゾク	個別着信時に応答しなかった場合になるベルの設定
F13 アンサーバック	OFF /ON	相手局に電波が届いているかを 確認する機能の設定
F14 電池アラーム	OFF/ ON	電池残量アイコン点滅と同時に 鳴る警告音のON/OFF
F15 ワンタッチVOL	ミュート /-30%/-60%	「プログラム」キーに機能を割り 付けたときの音量減衰量の設定
F16 CH 空き通知	OFF /ON	チャンネルの空き通知の設定
F17 コントラスト	レベル00~ 08 ~15	ディスプレイのコントラスト調整
F18 セミVOX	OFF /ON	PTT 短押しで送信開始、音声入 力が無くなると送信終了する機 能の設定

操作のしかた (拡張機能)

項目	設定値 (初期値太字)	機能
F19 VOX ホールド タイム	0sec /0.2sec/0.5sec/ 1.0 sec	送信状態から受信状態になるま での時間設定
F20 TX AGC	OFF /ON	適切なマイク感度に自動調整す る機能の設定
F21 ACC 電源	OFF /ON	オプションユニットへの電源供給 の設定
F22 アクセサリタイプ	スピーカマイク /イ ヤホン	イヤホン、スピーカマイクの 特性補正
F23 PTT ホールド	OFF /ON	PTT ホールド動作の設定
F24 上空CH	OFF /モニタ	上空用チャンネルモニターの設定
F25 スキャンタイプ	プログラム /デ ュアルレシーブ	スキャン機能の設定。
F26 スキャンPTT	セレクトCH /ラ ストCH/AUTO	スキャン機能の動作中のPTT 動 作設定
F27 スキャンRX	OFF/ ON	スキャン機能の着信後のスキャ ン再開設定
F28 スーパーセーブ	OFF /ON	電池バックの持ち時間セーブ機 能の設定 VOX、Scanなどの機能使用時は、 動作しません
F29 キー 1 短押	REC /スキャン/ オンセイガイド/バックライト/ ワンタッチボリューム/ セカンダリPTT/ スイッチスピーカ /OFF	プログラム1キー短押しの機能 割付け設定。 オンセイガイド設定時、上空CH は、83 ~ 97(CH)でアナウンスし ます。
F30 キー 1 長押	REC/スキャン/ オンセイガイド/バックライト/ ワンタッチボリューム/ス イッチスピーカ / OFF	プログラム1キー長押しの機能 割付け設定。 オンセイガイド設定時、上空CH は、83 ~ 97(CH)でアナウンスし ます。
F31 キー 2 短押	REC /スキャン/ オンセイガイド/バックライト/ ワンタッチボリューム/ スイッチスピーカ /OFF	プログラム2キー短押しの機能 割付け設定。 オンセイガイド設定時、上空CH は、83 ~ 97(CH)でアナウンスし ます。
F32 キー 2 長押	REC/スキャン/ オンセイガイド/バックライト/ ワンタッチボリューム/ キンキュウ/ スイッチスピーカ /OFF	プログラム2キー長押しの機能 割付け設定。 オンセイガイド設定時、上空CH は、83 ~ 97(CH)でアナウンスし ます。
F33 自動電源オフ	OFF /ON	電源切り忘れ防止機能の設定
F34 設定リセット	リセット /キャンセル	拡張機能 各設定の初期化

※機能の詳細については、サポートマニュアルをご参照ください。

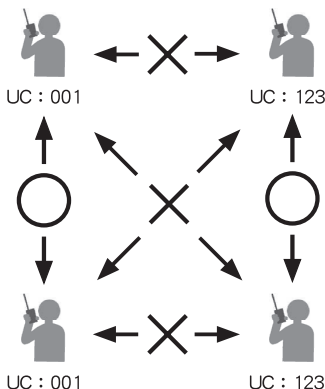
操作のしかた (UC 通信機能)

ユーザー同士で交信する (UC 通信機能)

UC (ユーザーコード) 通信とは

同じチャンネルで、同じユーザーコードを設定しているユーザー同士が通話できる方式 (UC 通信方式) です。

ユーザーコードは初期値の状態で共通ユーザーコード“000”に設定されています。この状態では他局がユーザーコードを変更していても秘話通信を除く全ての UC 通信を受信することができます。ユーザーコードを“000”以外に変更することで、ユーザーコードが一致した局のみと交信することができます。



補足

- ユーザーコードは、3桁の数字で構成されていて、“000”～“511”の間で決めることができます。
- ユーザーコード“000”は、共通ユーザーコードとして扱われ、受信時はコードが異なる信号も受信できますが、送信時は“000”を設定している相手としか通信することができません。
- UC 通信方式は、ARIB 規格で規定されており、種別コード 3R、3T の他社製デジタル簡易無線登録局と通話互換があります。

注意

- チャンネルが“CALL” (CH15) のときは、ユーザーコードの設定はできません。ユーザーコードを設定する場合は、他のチャンネルに切り替えて設定してください。

UC (ユーザーコード) の設定

1. 待ち受け画面で  を短押しします。
セッテイリストが表示されます。

セッテイ	
◀ UC	000 ▶

2.   を押して“UC”を選択します。
 を押しても選択できます。

セッテイ	
◀ UC	000 ▶

3.  を押して“UC”を確定します。
◀ ▶が“000 (ユーザーコード)”に移動します。

セッテイ	
◀ UC	000 ▶

4.  を回して希望の“UC (ユーザーコード)”の数値を設定します。

セッテイ	
◀ UC	123 ▶

  を押して桁を移動します。
ユーザーコードの設定は以下の通りです。

- ・ 000 ~ 511
(初期値 : 000)

補足 ○  を押すと一つ前の画面に戻ります。

5.  を押して確定します。

6.  を押してチャンネル表示に戻します。

- 補足** ○ 初期値は“000”が設定されています。
○ 初期値は、全てのチャンネルで共通のユーザーコードになりますが、コールモード“C02 UC モード”により“CHゴト”に設定すると、チャンネルごとにユーザーコードを設定することができます。

操作のしかた（個別通信機能）

個別に呼び出したい（個別通信機能）

個別通信とは

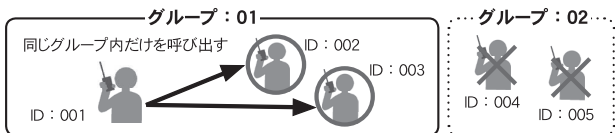
特定の相手局だけを呼び出したり、自局と同じグループの呼び出しやグループに関係なく一斉に呼び出して通話することができます。

特定の相手局だけを呼び出す（個別）

“個別：002”に設定し、
ID：002を呼び出す



自局と同じグループだけを呼び出す（グループ）



一斉に呼び出す（一斉）



補足

- ◎ コールモード“C01 通信方式”を“個別”に設定します。
- ◎ コールモード“C04 自局ID”で“001～200”から、各無線機に違うIDを設定します。
- ◎ コールモード“C05 グループID”で“01～30”から、自局グループのIDを設定します。
- ◎ 全員が同じチャンネルに設定します。
- ◎ 簡易リスト“UC”で全員が同じユーザーコードに設定します。
- ◎ 秘話機能を使用する場合は、簡易リスト“秘話”を“ON”に設定し、“秘話コード”で全員が同じ秘話コードに設定します。

定格

- 送受信周波数： デジタル簡易無線登録局 (6.25kHz間隔, 全82波)
351.03125 ~ 351.10000MHz (12波)
351.20000 ~ 351.63125MHz (70波)
上空用チャンネル(6.25kHz間隔, 全15波, モニターのみ可)
351.10625 ~ 351.16250MHz (10波)
351.16875 ~ 351.19375MHz (5波)
- 変調方式： 4 値 FSK
- 通信方式： 単信 (プレストーク) 方式
- 送信出力： 5W/2.5W/1W (+ 20%、- 50% 以内)
- 低周波出力： 0.7W 以上 (10% 歪時)
- 電池持続時間： FNB-V145LIA (構成品)
スーパーセーブ機能 ON 時： 約 16 時間
スーパーセーブ機能 OFF 時： 約 13 時間
(送信出力 5W 時、送信5、受信5、待ち受け 90 の割合で運用時)
- 電源電圧： DC 7.4V $\pm$ 10%
- 温湿度範囲： 温度 - 20°C ~ + 60°C
湿度 95% (35°C)
- 本体寸法： 56mm (幅) $\times$ 100mm (高) $\times$ 31.2 mm (奥行) (突起物を含まず)
- 本体重量： 約 260g
(FNB-V145LIA、アンテナ、MIC/SP 端子カバーを含む)

- 定格を予告なく変更することがあります。
○ RoHS 指令準拠

＜＜ 無料修理規定 ＞＞

1. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、保証期間内（お買い上げ日より3年間）無料修理をさせていただきます。
 2. 保証期間内に無料修理をご依頼される場合は、お買い上げの販売店へ製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お申し付けください。
 3. 保証期間内であっても、次の場合には有料となります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記入がない場合。
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理・調整・改造による故障およびそれらが原因により生じた故障、または故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (4) お買い上げ後の取付場所の移動・輸送・落下等による故障および損傷。
 - (5) 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地異・異常電圧などによる故障および損傷。
 - (6) 他の要因（アンテナの不備・電波障害・設置場所など）により正常に動作しない場合。
 - (7) 消耗部品（バッテリーなど）に関するものの交換。
 4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お問い合わせは、
販売店あるいはCSR スタンダードカスタマーサポートで承っております。

CSR スタンダードカスタマーサポート



0120-954-252 011-676-3008

(北海道以外の全国)

(北海道エリア)

e-mail : standard_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間 9:00 ～ 17:00（土日祝日を除く）

お客様の個人情報保護について

お客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を第三者に開示、または提供することは一切ありません。
お客様の情報は今後、当社の顧客管理のみに使用させていただきます。



STANDARD 保証書

持込修理

お客様の正常な使用状況で万一故障した場合は、「無料修理規定」（裏面参照）により無料修理させていただきます。

お客様へのお願い

お手数ですが、ご住所・お名前・電話番号・無線機の製造番号（本体に記載）をご記入ください。

販売店様へのお願い

お買い上げ日・貴店名・住所・電話番号を記入のうえ、お客様へお渡しください。

※印の欄は、必ずご記入ください。

ご記入の際は、ボールペン等ではっきりと読みやすくご記入ください。

機種名

製造番号 (SER NO.)

VXD40BT

※ お買い上げ年月日

年

月

日

保証期間（お買い上げ日より）

3 年（本体）

- 修理はお買い上げの販売店へ必ず本保証書を添えてご依頼ください。
- 修理・調整には計測器を必要とするため、出張修理は行いません。
- 本保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

※ お客様記入欄

ご住所 〒

お名前

電話番号

※ 販売店

店名

住所

電話番号

株式会社CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<https://www.kcsr.co.jp/>